

令和7年度 国立市子どもの居場所づくり事業補助金申請団体評定票（1）

（1） 小学生から18歳までを対象とし、子どもたちが気軽に立ち寄り、自由に過ごせる居場所を提供するもの

申請団体名					評定日	評定者氏名				
評定にあたっての留意事項 1) 評定判断（項目別） 各評定項目について、申請書類等により、右記の評定とする。 2) 評定判断（総合） 個別評定の合計値を総合評定とする。 3) 所 見 E評定の場合や特筆すべき事項がある場合に記入する。 A＝大変優れている B＝優れている C＝普 通 D＝改善の余地がある E＝適さない										
N o	評 定 の 項 目				評 定					所 見
①	居場所の参加しやすさに関する評価	<参考評価基準> ・実施回数 (週2回以上、週1回、月2回、月1回、月1回未満) ・実施時間等 (子どもが参加しやすい曜日、また時間帯か) ・参加費 (無料か、または子どもの支出額として妥当か等) ・参加方法 (当日参加が可能か、事前申し込みは必要か等) 等			A	B	C	D	E	事務局採点項目 (参考点)
					4	3	2	1	0	
②	居場所での過ごしやすさに関する評価	<評価のポイント> ・自由に過ごせる配慮はあるか 例) 1人で静かに過ごす、友達と一緒に遊ぶ等、子どもたちが居場所での過ごし方を主体的に選択できること 等 ・安心して過ごせるための工夫はあるか 例) 子どもがいつでも気軽に相談できるような、声掛けや空間づくりの工夫があること 等 ・交流促進のための工夫はあるか ・運営に必要な人数の人員が配置されているか			4	3	2	1	0	
③	子どもの体験機会としての評価	<評価のポイント> ・当該事業が子どもの体験機会としてどのような影響を与えられるか 例) 学校や家で体験できない新しいことを体験できる機会を提供していること 例) 興味関心のあることにチャレンジできる体験機会を創出する仕組みがあること 等			4	3	2	1	0	
④	行政・地域との連携に関する評価	<評価のポイント> ・行政とどのように連携していくか ・事業実施エリアの民間団体や地域資源とどのようにどのようにつながり、地域全体を活性化させるか			4	3	2	1	0	
⑤	広報活動に関する評価	<評価のポイント> ・対象者に対する広報活動を適切に行っているか ・一般市民や青少年育成団体への周知活動を行っているか ・事業内容に見合った広報を行っているか			4	3	2	1	0	
総 合 評 定		上記の項目に基づく総合評定 (5項目の評定点数の合計値)								